

多摩市 都市計画マスタープラン改定 地域別市民ワークショップ

～第3回 目指すまちの姿を話し合おう～

日時：令和6年2月3日（土）9:30～12:30

会場：多摩市役所 西会議室 西第1～3会議室



1 目的・第1回～第3回の流れ

○目的

- ✓ 地域の魅力や課題、目指すまちの姿についてワークショップ形式で検討を行い、その成果を都市計画マスタープランの拠点別・地域別の検討に反映させる。
- ✓ 市民が地域の問題解決やまちづくりに関心を持つきっかけを作り、協働のまちづくりを推進する。

○第1回～第3回の流れ

1回目 (1/20)

拠点別の魅力と課題を話し合おう

聖蹟桜ヶ丘駅周辺、多摩センター駅周辺、永山駅周辺、南多摩尾根幹線沿道それぞれの拠点の魅力や課題を協議

2回目 (1/27)

地域の魅力と課題を話し合おう

多摩市を5つの地域に分割し、地域固有の魅力や課題を協議

3回目 (2/3)

目指すまちの姿を話し合おう

1回目、2回目を受け、5つの地域ごとに、将来の目指したいまちの姿を考える。

最終日!

2 本日 (2/3) のプログラム

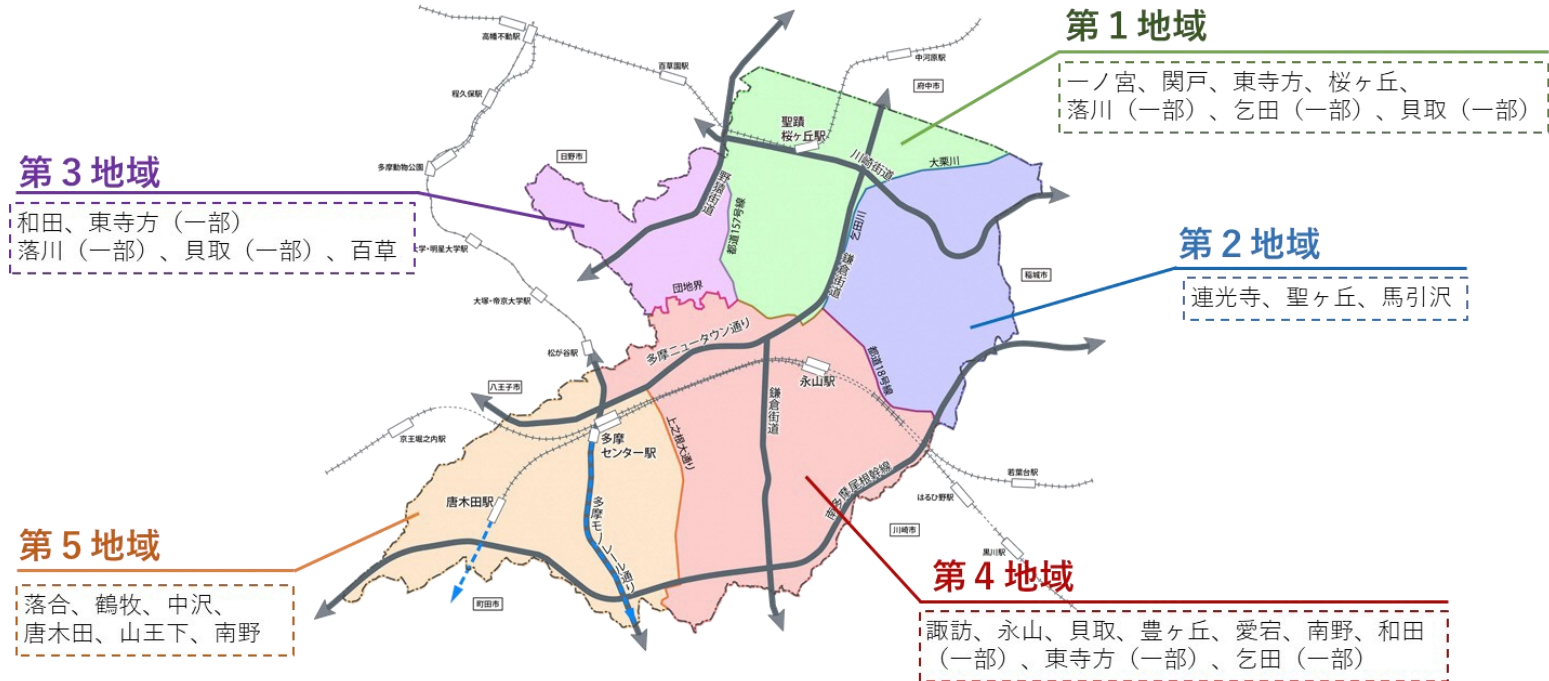
	時間
1. 開会、あいさつ	9:30～9:35
2. 前回までのふりかえり/ワークショップの進め方	9:35～9:45
3. ワーク① これまでのふりかえりと追加意見交換	9:45～10:30
	～休憩 (5分)～
3. ワーク② 「将来のまちのイメージ」を考える	10:35～11:15
4. ワーク③ 「まちづくりの方向性 (スローガン)」を考える	11:15～11:40
	～休憩 (10分)～
5. 意見共有	11:50～12:15
6. 都市拠点・拠点軸のとりまとめ	12:15～12:25
7. 閉会	12:25～12:30

3 ワークショップとは

参加者同士が1つのテーブルを囲み、ファシリテーターと呼ばれる司会進行役を中心に意見交換や作業を行う、参加型のプログラムです。

〇意見交換する内容

- ✓ これまで、市内の都市拠点（聖蹟桜ヶ丘駅周辺、永山駅周辺、多摩センター駅周辺）と拠点軸、お住まいの地域（第1地域～第5地域）の魅力・課題・解決策（アイデア）について意見交換してきました。
- ✓ 本日は、これまでの内容の確認と不足しているテーマについて追加意見交換を行います。
- ✓ その後、地域別の「まちづくりの方向性（スローガン）」を考えていきましょう。



4 本日の流れ

ワーク① これまでのふりかえりと追加意見交換

- ✓ 第1回の「都市拠点と拠点軸」、第2回の「地域別」で意見交換した結果を“主な意見”としてまとめています。これまでの内容をふりかえりつつ、意見交換した内容と齟齬がないかご確認ください。
- ✓ また、これまでの意見交換であまり議論していない内容を“本日お聞きする内容”としてまとめていますので、追加でご意見をください。

ワーク② 将来のまちのキーワードとイメージを考える

- ✓ ワーク①の内容を参考に、将来目指したい・なってほしいまちのキーワード・イメージについて意見交換しましょう。
例) キーワード：にぎやか、うるおい、楽しい etc…
イメージ：みんなが楽しく暮らし、緑豊かなまち etc…

POINT!

最初はキーワード（単語）単位で考え、
キーワードを繋げ合わせてイメージ（文章）を考えてみましょう！

ワーク③ まちづくりの方向性（スローガン）を考える

- ✓ ワーク②で意見交換した内容を参考に、地域ごとに「まちづくりの方向性（スローガン）」を考えましょう。

POINT!

ワーク②で意見交換したキーワード・イメージの中でも、重要・大切にしたい内容を決め、ひとつにまとめていきましょう！

成果発表

- ✓ これまでのワークの成果を発表します。
- ✓ 最初はFC（ファシリテーター）が都市拠点・地域について発表し、次に、参加者の方にまちづくりの方向性（スローガン）を発表していただきます。
- ✓ 発表内容に対し、追加してほしい内容や観点があれば、その場でご意見ください。
（※時間の関係上、質疑については別途お伺いさせていただきます。）

将来のまちのキーワード・イメージを考える

多摩市 地域別市民ワークショップ 【第1地域】

まちのキーワード

にぎやか	都市拠点	水とみどり	安全・安心	生活便利
------	------	-------	-------	------

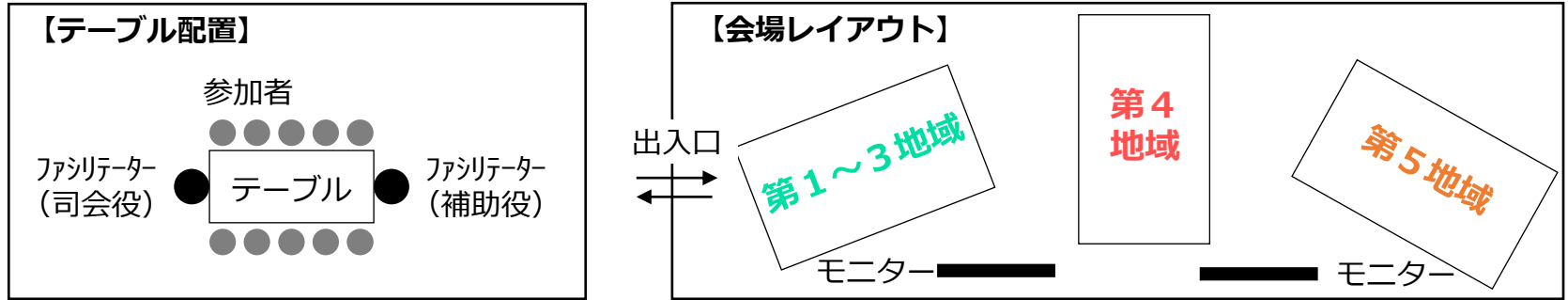
将来のまちのイメージ

★まちづくりの方向性（スローガン）

地域のまちづくりの方向性（スローガン）を考える

5 テーブルの配置

- ✓ 下図のようなテーブル配置・会場レイアウトで進行いたします。
- ✓ ご自身がお住まいの地域（応募した際の地域）のテーブルにご着席をお願いいたします。
（※人数の関係上、第1地域～第3地域は同じテーブルで実施します。）



6 注意事項

- ✓ 今回、お集まりの方は、お住まいの地区、年齢構成も異なりますが、みんなが『多摩市』にゆかりのある人たちです。お互いが気持ちよく発言できるように、以下の注意点を守って意見交換しましょう。

★話は短めに！

一人の人が話すぎないことに注意しましょう

★違って当たり前！

他の人の意見を否定しない、違いも受け入れよう

★話をつなげる！

話の途中で割り込まない、話を楽しみましょう

★共に考える！

できない理由ではなく、どうしたらできるかを考えよう

★時間を守ろう！

時間を意識しよう。テーブルリーダーの声に耳を傾けよう

● 聖蹟桜ヶ丘駅周辺

にぎわい

都市基盤

水とみどり

安全・安心

生活環境

- ✓ **様々な主体・世代が連携したにぎわいづくり** ■
 - 商業施設がコンパクトにまとまり充実している。
 - 昔ながらの街道や小さな魅力的なお店がある。
 - ◇デパート以外は利用しないことが多い
 - ⇒行政主導や、商業施設と地元商店街が連携したイベントを開催し、にぎわいを創出する
 - 住民・地域のつながりが強い
 - ◇多摩川へのアクセスがわかりづらい
 - ⇒サイン等でわかりやすい案内をする
 - ⇒まち全体の回遊性の向上を図る
- ✓ **移動しやすい環境づくり** ■
 - ◇自転車が多いがスピードを出して危ない
 - ⇒自転車専用道路の整備
 - ◇駐車場がわかりにくく路上駐車が多い
 - ⇒企業連携による使いやすい駐車場を実現させ、路上駐車の数を削減する
 - 交通機能が充実している
 - ◇他の駅拠点にアクセスしづらい
- ✓ **多摩川と大栗川を活かした歩きたくなる環境づくり** ■
 - 多摩川など水辺空間が近くにある
 - かわまちづくり等でイベントが多い
 - ⇒川沿いに休憩できるカフェや自転車用パーキングを設置し、使いやすい河川環境を整備する
- ✓ **子育て・若者世代に特化したまちづくり** ■
 - ◇若者・子供向けの施設・魅力が少ない
 - ⇒若者向けのショッピング施設など、若者目線の取組を進める

● 永山駅周辺

- ✓ **生活利便施設の維持と魅力向上** ■
 - 病院や銀行、郵便局など生活に必要な施設がそろっている
 - ◇病院が古く行きたくない
 - ◇魅力のある個人店が少ない
 - ◇店舗が少なくなっている
 - ⇒駅前商業施設への店舗の誘致
- ✓ **交通結節点の有効活用** ■
 - 2路線が通じ、特急や急行も停車する
 - 市内アクセスがしやすい
 - ◇バスの利便性(運行本数、ルート)が低下している
 - ⇒ライドシェアや自動運転などの技術を活用する
- ✓ **公園のにぎわい、環境の整備** ■
 - 緑・公園が多い
 - 水辺やきれいな川がある
 - ◇整備されている公園が少ない
 - ◇遊具のある公園が少ない
 - ⇒公園ごとにブランディングを行い、各公園の特色を出す
- ✓ **移動しやすいまち** ■
 - 歩道・道路が整備され、安心して通行できる
 - ◇坂、高低差のある個所が多い
 - ◇バリアフリー対応がされていない
- ✓ **子育てしやすい拠点づくり** ■
 - ◇魅力のある学校が少ない
 - ◇スポーツ施設が少ない

● 多摩センター駅周辺

- ✓ **人が滞留できるまち** ■
 - 施設(ピューロランド・スタードーム・映画館)が豊富
 - ◇施設までの空間(沿道)に魅力がない
 - ⇒目的のためだけではなく、立ち寄れる工夫が必要
- ✓ **駅周辺の資源(ポテンシャル)の活用・発信** ■
 - 中央図書館や多摩八角堂、富澤家住宅等、公共施設が充実
 - 図書館・OLIVE利用者による若者世代が増加
 - ◇駅利用者は乗り換えが目的
 - ⇒来街者をまちなかへ呼び込む仕掛けづくりが必要
- ✓ **誰もが安心して移動できるまち** ■
 - ◇コミュニティバス等含め市内各地への交通の便が悪い
 - ◇自転車等への適切な指導による安全な歩行環境づくり
 - ⇒レンタサイクルや電動スクーターなど、様々な移動手段を導入する
- ✓ **まちの資源を活用したより暮らしやすいまち** ■
 - 歩車分離された道路、公園(子どもの遊び場)など、整備された資源が豊富
 - ◇バリアフリーを含めた安全な利用(暗い・歩きにくい)に課題
 - ⇒道路へのバリアフリールートを表示など、ちょっとした工夫による暮らしやすいまち
- ✓ **子育て・若者世代に特化したまちづくり** ■
 - ◇若者・子供向けの施設・魅力が少ない
 - ⇒若者向けのショッピング施設や図書館の自習室など、若者目線の取組を進める

● 拠点別（南多摩尾根幹線軸）での主な意見

- ✓ **若い活力を取り入れたまちづくり** ■
 - ⇒地域の大学と連携した公共用地の活用や施設運営をする
 - ⇒若い世代が楽しめる商業施設をつくる
 - ⇒定期的にマルシェなどのイベントを開催する
- ✓ **家族みんなで楽しめるまち** ■
 - ⇒道の駅やアクティビティ施設など、多世代が楽しむことができる商業施設をつくる
- ✓ **広域アクセスポテンシャルを活かした移動しやすいまち** ■
 - ⇒本線のアクセス性を阻害しない導線確保
 - ⇒パーソナルモビリティの導入により市内移動を円滑にする
- ✓ **周辺市と連携したみどりの活用** ■
 - ⇒周辺市とのつながりを意識したみどりの活用
 - ⇒キャンプやグランピング、農業など自然を生かした体験ができる施設や野菜の直売所などをつくる
- ✓ **子育てがしやすい環境づくり** ■
 - ⇒ファミリー向け施設、保育所をはじめとする子育て支援施設をつくる